

このままでは、発掘が止まります…！

四半世紀におよぶ発掘調査が

存続の危機

～2026年度発掘調査実施を目指して～
緊急支援キャンペーンを実施

目標金額：1,500万円（達成期限：6月30日まで）

東京大学「ソンマ・ヴェスヴィアーナ発掘調査プロジェクト」

なぜ**緊急**なのか？

東京大学が2002年からイタリアで続ける古代ローマ遺跡発掘調査プロジェクト。
噴火により埋もれた2000年前の記憶を掘り起こし、ローマ史上の謎に迫る挑戦です。
数世紀にわたる「罹災・復興・再罹災」のサイクルを一体で追える第一級のフィールド
であるこの遺跡は、「**初代ローマ皇帝アウグストゥスの終焉の地**」である**可能性**がありま
す。いま、私たちはその真実を明らかにする歴史的発見を目前にしています。
しかしながら・・・、近年の資金難により**発掘調査の存続自体が危機的状況に瀕してお
り、2026年の発掘調査も厳しい状況にあります。**
資金が集まらなかった場合、残念ながら発掘調査を諦めざるを得ません。
2000年眠り続けたローマ史の謎は永遠に解明されないかもしれません・・・

こうした状況を受け、このたび2026年度の発掘調査の実施を目的として、
総額1,500万円の支援を募る緊急キャンペーンを実施することといたしました。

発掘継続のために、今、みなさまからのご支援が切実に必要です。

どうか私たちに、掘り続けるチャンスをください！

目標金額と内訳

目標金額：1,500万円
(達成期限：6月30日まで)

【具体的に必要な作業にかかる費用】

最低限の発掘調査を実施するにあたり、以下のような費用が必要です。

- 研究員の現地派遣費用：約600万円
- 発掘調査費用：約500万円
- 遺跡の安全性の担保、遺構や出土遺物の維持・管理の費用：約400万円

※発掘調査の直接の運営費については、東京大学から当プロジェクトに交付されている予算内から約500万円を充てて実施。

※目標金額に満たない場合も予算に応じた規模で現地での研究調査は実施いたします。(7月に準備、8月には発掘調査員が現地入り予定)



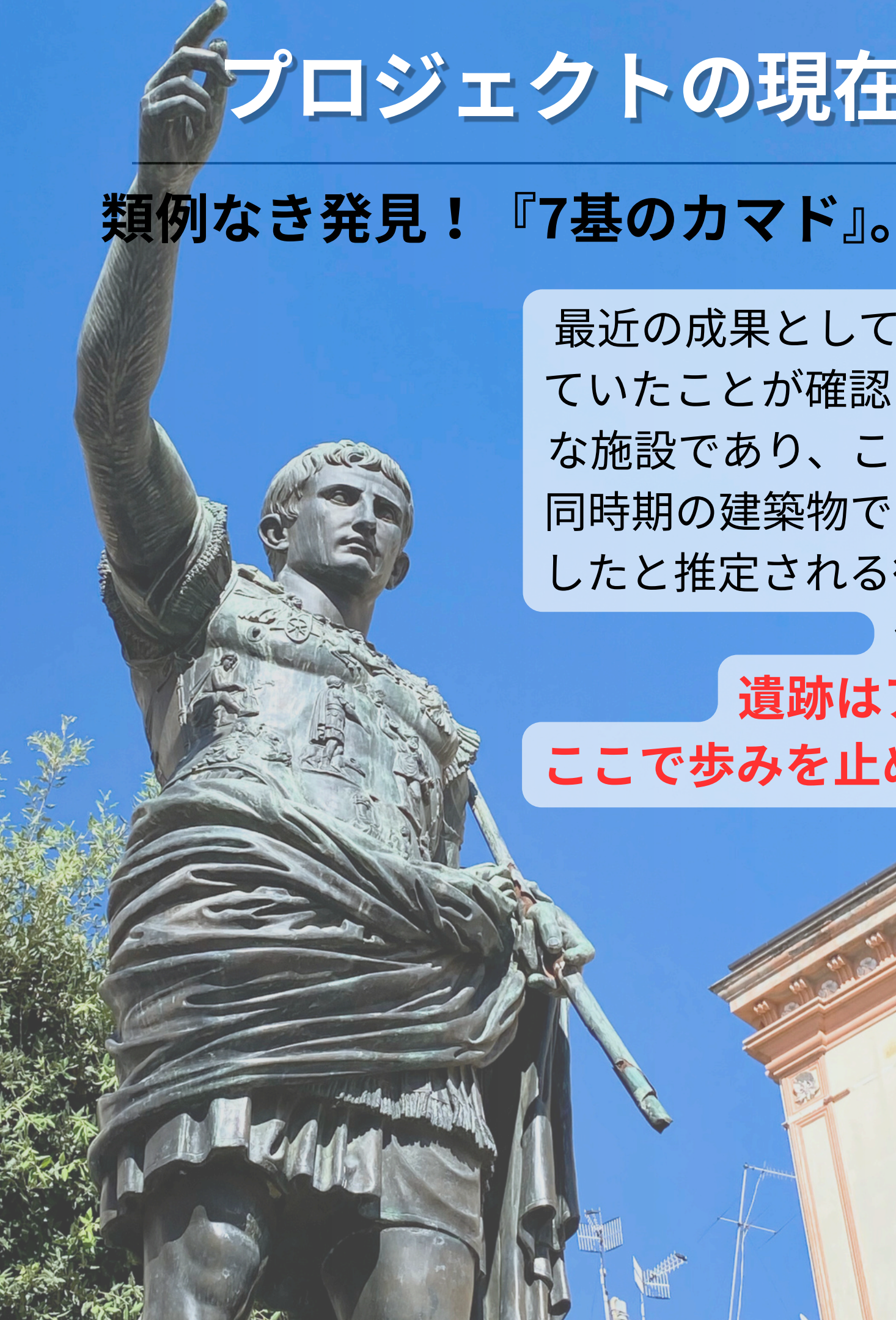
プロジェクトの現在地 『歴史的大発見へ、あと一步...!』

類例なき発見！『7基のカマド』。—初代ローマ皇帝アウグストゥス別荘説への大きな前進

最近の成果として、調査対象となった部屋には少なくとも7基もの「カマド」が設えられていたことが確認されました。同時代のイタリア国内の遺跡にも類例を見ない極めて稀有な施設であり、この遺跡がもつ特異性を示しています。アウグストゥス帝が没した時代と同時期の建築物であることが証明された点とあわせて考えると、歴史的にこの地域に存在したと推定される彼の別荘が、まさに私たちの調査対象である建物そのものであるという仮説は、いよいよ現実味を帯びつつあると言えます。

遺跡はアウグストゥス帝別荘説に迫る重要な段階にあります。

ここで歩みを止めることなく、火山灰の下に眠る歴史を明らかにしたいのです！



今後の目標 「皆様のご支援で実現できること」

2026年～2028年の発掘予定区域

(※屋根が設置できていないためむき出しの状態になっているのが現在発掘進行中のエリア。)

目標達成ができれば、必要最小限の規模ではありますが、2026年も発掘調査が続行できます！



■青枠：調査のメインターゲットになる、紀元前1世紀以前の建物（アウグストゥスの別荘？）の構築面のレベルまで（地表下約15m）掘り下げる範囲。

■赤枠：現有の発掘可能範囲のうちで、青枠部分に安全に至るためには、周辺部分を階段状に掘り下げていく必要があるため、主に重機を使用して掘削を進めていく範囲。

プロジェクトメンバーからのメッセージ



20年以上にわたり、私たちのチームはイタリアの太陽の下で、ひたむきに、過去を掘り起こす作業を続けてきました。

発掘調査をここまで継続することが出来たのは、ひとえにこれまでご支援を賜った皆様のお力によるものです。いま、私たちは2000年前の古代ローマ史の謎の解明に、かつてないほど近づいています。

しかし、皆様のご支援がなければ、物語が完結する前に発掘調査を終えなくてはならないかもしれません。

皆様のご支援が、現代における最も驚くべき考古学的発見の一つを明らかにする大きな力となります。

失われた歴史的一幕に再び光を当てるために、どうか引き続きあたたかいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます！

ご寄付の方法

2026年の調査を継続するために、
今、みなさまからのご支援が切実に必要です。

この発見は世界史に新たなページを加える可能性があります。

どうか私たちに、発掘調査を続けるチャンスをください！ _____>



★謝意として、キャンペーン期間にご寄付くださった方全員に、

- 発掘調査が実現できた際には、現地レポート（写真や活動報告等）をメールにて送付し、発掘成果を皆様と共有いたします。
- 当プロジェクトの公式ウェブサイトに2026年度発掘調査報告ページを作成し、謝意とともに、寄付者のお名前を掲載いたします。（※ご希望者のみ）

プロジェクトSNSもぜひフォローをお願いします！



@SOMMA_PROJECT_STAFFS

